



第127回 かわさき起業家オーディション
「かわさき起業家優秀賞」受賞

最短30分で自宅での診察が受けられる 「夜間休日の往診サービス」



株式会社コールドクター

代表取締役

中原 毅

当社が運営する「コールドクター」は、最短30分で医師を呼ぶことができる夜間・休日専門の往診サービスです。患者さんが電話やWeb、スマートフォンのアプリから依頼をすれば、ご自宅まで医師が訪問。その場で診察をし、薬の処方までを行います。小さなお子さんのいるファミリーや通院が困難なシニア層、忙しい働き盛り世代など、病院へ行きづらい方々をサポートできるサービスです。

現在、北海道、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県、佐賀県の9つの主要都市圏でサービスを展開。スタッフ60名（アルバイト含む）、登録医師400名、ビジネスパートナーとして8つの在宅クリニックと提携しています。

私はもともとIT企業出身であり「いつか世の中のニーズを満たすようなサービスを立ち上げて起業したい」という想いがありました。そして2018年、さまざまな方に協力や支援をいただいて「コールドクター」をスタートすることができました。「コールドクター」は、夜間救急医療機関の負担を減らし、救急車の出動件数の低減にも貢献できる、優れたサービスであると実感しています。今後もスタートアップとしてのチャレンジ精神を忘れずに、医療業界を支えるサービスを展開していきます。

■ 受賞したビジネスに至った経緯

私は医師ではなく、医療に携わった経験もありません。創業前はインターネット広告やメディア事業を展開するIT企業に在籍しており、マッチングアプリの開発に携わっていました。

「コールドクター」が生まれた背景には、高校時代の同級生で、医師として働く2人の友人の存在がありました。高校卒業後もプライベートで会い、お互いの仕事の話をする中で、いつしか「ITと医療を組み合わせる人の役に立つようなことをやりたいね」と、夢を語り合うようになったのです。その中で出てきたアイデアが、「病院に行くことができず困っている人の家に、医師を送り届けられるようなサービスができないか」ということでした。

病院が閉まっている時間帯に「子どもが突然発熱した」とか「診察を断られて困った」という話は、私もよく耳にしていました。このアイデアには、後に当社の取締役となる救命救急専門医の岩下も、強く賛同してくれました。というのも、緊急性のない患者さんが救急車を呼ぶことで、本当に重篤な患者さんへの対応ができないことがあり、日ごろから問題意識を持っていたというのです。「患者さんにも、救急受け入れをしている病院にもメリットがある良いサービスになるはずだ」と背中を押してくれました。

また、私自身の体験もサービス立ち上げのきっかけの一つになりました。ある日の夜間、救急車を呼ぼうか迷うほどの腹痛に襲われたことがあったのです。さすがに救急車は大きさとタクシーで病院に駆け込みましたが、ずいぶん心細かったことを覚えています。幸い、大したことはありませんでしたが、医療の知識のない一般人が、夜中に一人で体調を崩すのはとても不安なことです。そういったときに、電話やアプリですぐに相談できる場所があり、いざとなれば医師が来てくれる体制が整っていたら、と強く感じました。そんな出来事もあって、改めてサービスを立ち上げる決意を固めました。

■ サービスの特徴

「コールドクター」の魅力は、一般の病院やクリニックが開いていない夜間・休日に、自宅で診察を受けられることです。電話、Web、アプリで手軽に診察依頼ができ、その後、当社が手配した医師を、専属ドライバーが自宅まで送り届けてくれます。また、医師の位置情報をリアルタイムで確認でき、到着時間が予測できることもポイント。さらなる安心感につながります。

同じような自宅診療サービスを展開する競合もありますが、「コールドクター」ならではの強みは、医療業界では稀な「IT企業出身者が経営の中核を担っている」ことにあります。そのため、開発力やサービスの品質は、他の追随を許さないレベルであると自負しています。前職の同僚だったエンジニアの合田を共同代表に迎えたことによって、優秀な技術者が当社に集結。アプリでのGPS機能やオンライン診療も、競合に先駆けてリリースすることができました。

さらに、利用者さんはもちろん、医師にとっても使いやすいサービスの構築にもこだわりました。勤務体系は柔軟なシフト制になっているので、医師は空いている時間を上手く利用して診察することができます。送迎は専属ドライバーが行うので、医師は自宅で待機していればOK。白衣や聴診器など必要なものもすべて当社が用意するため、負担は最小限で済みます。医

師へのメリットが大きい仕組みにすることが、より多くの医師の採用につながっています。

また、若い世代やファミリーの利用も多いことから、小児科の医師を手厚く採用していることも当社の大きな強みの一つです。

■ 現状の課題

立ち上げ時から最も苦労したことは、サービスの認知でした。どんなに使いやすいサービスをつくっても、まずは「コールドクター」の存在を知っていただかなければ、困ったときや不安なときに役立ててもらうことができません。そのために、保育園でのチラシ配りや動画広告など、プロモーション活動には重点を置いてきました。自宅往診サービスがあることを知らない方もまだまだたくさんいますので、認知度を上げて、利用者数を増やしていくことは、今後も継続して取り組んでいかなければならない課題であると考えています。

また2021年夏の新型コロナ第5波の際には、新たな課題も出てきました。それは、私たちの想定以上に需要が高まり、依頼に対応しきれない状況が生まれてしまったことです。医師の採用・増員は進めていましたが、それを上回るほどの受診申込があり、断らざるを得ないケースもありました。今後は、世の中の流れを先取りしながら、需要と供給のバランスを考えた運営をしていかなければならないと強く感じました。

■ 今後の展開

私たちの目標は、「世の中で一番使われる医療toCサービス」にすることです。そこに向けて、対応エリアの拡大と、サービスの充実に取り組んでいきます。また、往診が難しい場所であっても、医療相談やオンライン診療の利用は可能です。利用の選択肢を増やすことで、どこにいても、誰にでも使える「医療における社会インフラ」となることも目指していきます。

2018年の創業から医療業界に携わるようになり、医師や医療関係者と接する機会が増えました。そのことで、医療業界に対しての興味やリスペクトがどんどん高まっています。これからも「コールドクター」を軸にして、さらに医療に貢献できるようなサービスを開発・提供していきたいと思えます。

■ エントリーを検討中の方へ一言

受賞後は、メディアで取り上げていただく機会が増えたことで、サービスの認知度が確実に上がってきていることを実感しています。また、選考の際には、さまざまな審査員の方から「コールドクター」に対するレビューやアドバイスをいただくことができました。そのことで、私自身も今後の方向性や、事業戦略を研ぎ澄ませることができたので、とても感謝しています。受賞の有無に関係なく、成長につながると思っていますので、ぜひ応募してみてください。私自身、チャレンジして本当に良かったと思います。

会社名：株式会社コールドクター

住所：〒150-0046

東京都渋谷区松濤1-28-2

電話番号：☎0120-897-146

メールアドレス：contact@calldoctor.co.jp

ホームページ：https://calldoctor.jp